

金沢大学 WPI-NanoLSI  
2026 年度 Bio-SPM 技術共同研究  
課題募集要項

金沢大学ナノ生命科学研究所(WPI-NanoLSI)では、2026 年度 Bio-SPM 技術共同研究課題を募集します。

## 1. 共同研究募集の概要

### 1-1 募集の趣旨

WPI-NanoLSI では、個々の大学や研究機関の枠を超えて、原子分解能/3D-AFM (FM-AFM)、高速 AFM、SICM（走査型イオン伝導顕微鏡）、細胞測定 AFM といった、独創的な Bio-SPM 技術\*を利用した共同研究を推進することで、ナノ生命科学の発展に貢献することを目標に掲げています。本事業で募集するのは、所内の受入れ研究者との共同研究として申請者が実施する、上記 Bio-SPM を利用した研究課題です（所内 Bio-SPM 技術付帯設備を利用するものも含む）。

\*各 Bio-SPM 技術については、以下の別紙資料をご覧ください。

別紙資料「各 Bio-SPM 技術の概要」

<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/ja/research/applications/bio-spm/>

共同研究を更に発展させるため、今年度、“Extended Visiting Track”の募集を開始しました。詳細は1-5「※Extended Visiting Trackについて」をご覧ください。

### 1-2 実施内容

NanoLSI の Bio-SPM を利用する、ナノ生命科学及び関連分野の課題を、NanoLSI の受入れ研究者との共同研究として実施していただきます。

### 1-3 試料に関する注意

\*以下の試料は受入れできません。

- ・ P2 レベル以上の遺伝子組み換え生物、BSL レベル 2 以上の病原性微生物とウィルス、その他規制品
- ・ 海外から応募の場合、日本への持ち込みが禁止されている試料

### 1-4 応募資格

国公立大学、国の研究機関、海外の研究機関等の研究者および技術者

※学生は、申請者（実験責任者）としての申請はできません（当該研究組織への参加は可）。

※共同研究契約等を締結する必要がある場合があります。

※一般企業の方は、以下の資料をご覧ください。

一般企業向け募集要項 <https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/ja/research/applications/bio-spm/>

※NanoLSI アソシエイトの方は、一般企業の所属であっても申請を受け付けます。

### 1-5 研究期間

第1回、第2回採択者：選考・手続き完了後、2027年1月29日までの期間

来所日数は、**40日以内**としてください。

※採択後、1ヵ月以内に来所日程を決定していただきます。

※受入れ研究者の状況により、実施時期の希望に沿えない場合があります。

※実施日は月～金曜日として下さい。

※**Extended Visiting Track**について  
 以下の条件を満たす場合は、**最大90日**の来所が可能な「Extended Visiting Track」として申請していただくことができます。

- ・2018年から2025年までのBio-SPM技術共同研究もしくはNanoLSI Visiting Fellows Programに申請者（実験責任者）として参加された方が行う申請であること
- ・申請について、受入れ研究者の事前承諾が得られていること
- ・申請者に加え、**1名以上**の研究メンバーが来所する課題であること
- ・前回採択された課題の成果に関連する内容で、更に発展した課題であり、**30日以上**の長期間の来所の必然性があること

2026年度のExtended Visiting Track の採択は**1件程度**とします。

通常申請とExtended Visiting Trackの違い

	Bio-SPM技術共同研究	Extended Visiting Track
対象者	国公立大学、国の研究機関、海外の研究機関等の研究者および技術者	過去のBio-SPM技術共同研究もしくはNanoLSI Visiting Fellows Programに研究代表者として参加された方
訪問日数	のべ40日まで	のべ30日以上90日まで
事前承諾	受入れ研究者の事前承諾：不要	受入れ研究者の事前承諾：要
採択予定数	30件程度（2026年度）	1件程度（2026年度）
旅費支援上限	国内：20万円、海外：35万円	国内：40万円、海外：70万円

## 1-6 応募方法

### 【応募書類】

様式1(1)と申請者の研究経歴書(2)の2点をご提出下さい。

(1)様式1は、下記ホームページ(HP)よりダウンロードしてください。

<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/ja/research/applications/bio-spm/>

(2)申請者の研究経歴書は、任意様式です。

※事前に所内の受入れ研究者と申請内容について相談済みの場合は、その旨様式1に記載してください。

### 【提出期限】

第1回 2026年 5月27日(水) 17時【必着】

第2回 2026年 9月16日(水) 17時【必着】

※緊急で実験を希望される場合には、提出期限に関わらず受け付けることがありますので、下記「1-8. 研究内容等についての問い合わせ先」にご相談ください。

### 【提出先】

金沢大学 WPI-NanoLSI Bio-SPM技術共同研究事務局

〒920-1192 石川県金沢市角間町 Tel: 076-234-4574

E-mail: nanolsi\_opf002[at mark] ml.kanazawa-u.ac.jp

※ [at mark] を @ に置き換えてください。

## 1-7 選考方法及び結果の通知

金沢大学 WPI-NanoLSI 専門委員会の議を経て所長が採否を決定し、申請者に通知します。

※上記1-1.の募集の趣旨に沿った課題を優先的に採択します。申請に当たっては、Bio-SPM 観察に向けた試料調製を既に済ませ、ある程度の予備実験(生化学実験や観察条件の検討、顕微鏡(光学顕微鏡、電子顕微鏡、SPM等)観察など)を開始していることが望まれます。ただし、予備実験結果のない申請に関しても、内容に応じて採択されることがあります。

### 1-8 研究内容等についてのお問合せ先

希望する Bio-SPM 技術の種類（原子分解能/3D-AFM、高速 AFM、SICM、細胞測定 AFM）を明記の上、問い合わせ窓口にメールでお問い合わせください。後ほど、担当者より回答します。

問い合わせ窓口： nanolsi\_opf002[at mark] ml.kanazawa-u.ac.jp

Bio-SPM技術共同研究事務局 (Bio-SPM Collaborative Research Office)

※ [at mark] を @ に置き換えてください。

### 1-9 旅費

来所に伴う旅費（交通費、日当、宿泊費）の支援を申請される場合は、応募書類 様式 1 の該当する欄にチェックを入れてください。審査の結果、WPI-NanoLSI から、1 申請あたり国内からの申請者 20 万円、海外からの申請者 35 万円を上限として、本学旅費規程に従った額の旅費を支援する場合があります。（航空運賃が規定を超える場合\*は、採択後にご相談ください。\*最も低価格な路線が基準になります。）

Extended Visiting Trackの申請では、旅費支援額の上限を、国内からの申請者40万円、海外からの申請者70万円まで引き上げる場合があります。

## 2. 採択後のお手続き

### 2-1 実施時期

採択通知を受け取られましたら、受入れ担当者にご相談の上、実施時期を決め、通知お受け取りから 1 ヶ月以内に担当者に日程表をご提出下さい。実施時期のご連絡が遅れた場合、旅費支援に採択されていても、予算の確保ができずご自身で旅費をご負担いただく場合がございます。

※現時点では、2027年度以降も本プログラムの募集を継続するかは未定です。以下の点にご注意ください。

- ・採択後、受入れ研究者のスケジュールや使用装置の予約状況と参加者のご都合が合わず、**2027年1月29日までに実施できない場合、次年度への延期はできません。**
- ・2027年度以降も本プログラムの募集を行う場合には、再応募が可能です。ただし、その際には旅費支援等のルールが変更となる可能性があります。

### 2-2 研究成果報告

2027年3月26日（金）までに下記の書類（様式2及び様式3）を提出してください。ご提出いただいた書類のうち、様式3については、2026年度中にWPI-NanoLSIのHPにて公開します。

【様式2】	2026年度 Bio-SPM技術共同研究事業 研究成果報告書
【様式3】	2026年度 Bio-SPM技術共同研究事業 研究成果の概要

様式2、3は、以下のホームページ（HP）よりダウンロードしてください。

<https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/ja/research/applications/bio-spm/>

### 2-3 学術論文での本研究による成果の発表

本事業の成果を論文発表される際は、オーサーシップについて受入れ研究者にご相談ください。論文には、金沢大学WPI-NanoLSI 2026年度Bio-SPM技術共同研究による旨の記載 (This work was partly supported by WPI-NanoLSI Bio-SPM Collaborative Research Program)と、論文発表のご報告（1-8の問い合わせ先宛）をお願い申し上げます。

### 3. その他

- ① Bio-SPM での実績がまだあまりない試料や測定方法について、「予備検討」として採択する場合があります。予備検討では、専門の技術職員が測定条件の検討のための予備実験を行います。測定条件が定まり、提案内容が実施可能と判断されましたら、本格研究に移行します。
- ② 本研究課題が採択された場合、実験責任者及び共同実験者は、金沢大学 WPI-NanoLSI 共同研究員となります。本学の宿泊施設（角間ゲストハウス：有料）を利用することができます。本学宿泊施設に空きがない場合は、民間の宿泊施設をご利用ください。
- ③ 応募課題のうち、がんに関連する研究テーマで特に優れた研究提案に対しては、審査により金沢大学がん進展制御研究所から、1 申請あたり国内からの申請者 20 万円、海外からの申請者 35 万円を上限として、本学旅費規程に従った額の旅費の支援を行う場合があります。支援対象の成果を論文として発表する場合には、謝辞として「金沢大学がん進展制御研究所における共同研究による」旨の文章（**This work was partly supported by Extramural Collaborative Research Grant of Cancer Research Institute, Kanazawa University.**）の記載をお願いします。
- ④ 「学生の取り扱いについての誓約書」欄に署名された指導教員等が異動等になった場合は、新たな指導教員等の承認が必要となりますので、その際は、金沢大学 WPI-NanoLSI Bio-SPM 技術共同研究事業担当まで、お問い合わせ願います。
- ⑤ 以下のような点があるご提案の場合、採択が難しい可能性があります。
  - ・ NanoLSIのBio-SPMの現行の技術的制約のものでは実施が難しいと考えられるもの
  - ・ SPM観察可能な試料が調製可能かどうか、申請書から十分に判断できないもの（粗精製試料での観察は難しい場合があります）
  - ・ 既に類似の研究が報告されており、新規性が十分に示されていないもの
  - ・ SPMを用いて何をどのように計測するのかが申請書から明確に読み取れないもの

#### 【補足事項】

- ・ 申請書内の生年月日、年齢、性別 欄について  
文部科学省等への評価調書提出時に、共同研究員の「若手研究者数」および「性別研究者数」を報告する必要があるため、本欄を設けています。本欄の記入内容が採否に影響することはありません。なお、記入内容は個人情報として取扱いに十分留意することを申し添えます。
- ・ 申請書の記入にあたっての注意事項について